

みんなで
友だちを
学校を
そして
ふるさと・未来を
つくっていこう



学校教育目標

さらなる

創造への挑戦

【校訓：児童・生徒のあいことば】

自主 かしこく 自ら求め学び続ける子 「知」
 晴明 あかるく 明るく晴れやかな心をもつ子 「徳」
 壮健 たくましく たくましく生きようとする子 「体」
 敬愛 あたたかく 人を敬い、郷土を愛する子 「情」

重点目標

○子どもの「挑戦力」をのばす
 学習環境づくり
 ○地域との「絆」をより太くする
 具体的取組の蓄積

【地域の願い】

- 子どもは町の未来
- 小中一貫教育で、
ゆとりや継続性のある教育を
- 心豊かな子ども、地域を愛する子

重点

【活用期】

段階的に教科担任制を導入。これまでの学習や生活で身につけたことを活用し、学力の定着と論理的思考の育成を図る。

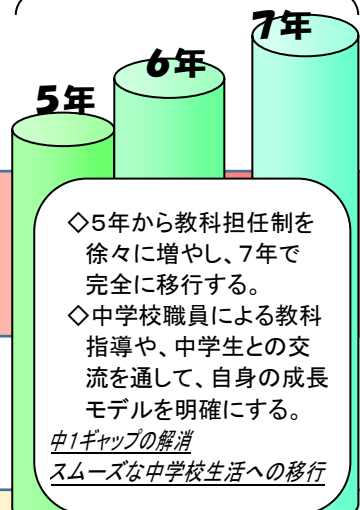
【発展期】これまでに身につけたことを発展させたり、生き方を考えたりすることを重視。自らの課題を見つけ解決する力を育成し、個性や能力の伸長を図る。

ソサエティ5.0の
時代に向かって

【基礎充実期】学級担任制を基盤に、繰り返し指導や補充指導を重視。学習規律や基礎的・基本的な知識・技能の定着を図る。



◇幼保小連携も含め、行事や交流活動を通して、上級生のお兄さんお姉さんに大事にされる経験を積みあげる。
 自己肯定感や年長者へのあこがれの気持ちの醸成



◇5年から教科担任制を徐々に増やし、7年で完全に移行する。
 ◇中学校職員による教科指導や、中学生との交流を通して、自身の成長モデルを明確にする。
 中1ギャップの解消
 スムーズな中学校生活への移行



◇行事や交流活動を通して、小学生とふれあい、年長者としての自覚を高め、共に育つ。
 年少者を
 慈しむ気持ちや
 自己有用感の醸成

自分の考えを、自分の言葉で、表現する
 これからの予測不可能な時代を生きるための、
 児童・生徒を育成したい！
 汎用性の高い思考力の育成への挑戦！

佐久穂小学校

佐久穂中学校

9年間見通した指導カリキュラムで効果的・系統的指導

9年間の独自英語教育カリキュラムでALTとチームティーチング

キャリア教育につながるふるさと学習

児童・生徒理解を深め、一貫した生徒指導・進路指導・特別支援教育等を推進

R4年度は、
 情報・ICT教育
 英語教育
 音楽教育
 スタートカリキュラム
 を窓口に

＜重点活動＞

- あいさつ
 - あいさつを交わして、仲間づくりの第一歩を
 - あいさつのあふれる明るい学校づくり
- 交流
 - 学級・学年の仲間づくり(同年齢交流)
 - 保・小・中の交流(異年齢交流)
 - ふるさと学習(地域交流)
 - ゆめゆり(小諸養護学校分教室)との交流
- 歌声
 - 歌うことで心をつなげる仲間づくり
 - 歌声の響く温かな学校づくり
- 清掃
 - 学校を大事にする仲間づくり
 - 美しく、生活しやすい学校づくり
- 学び合い
 - 向学の気風ある仲間づくり・学校づくり
 - 読書活動・家庭学習の充実
- 健康な体づくり
 - 早寝早起き朝ごはん、歯みがき
 - 運動の生活化、体力づくり
 - 食育の充実

《教育活動を支える基盤》

◇子ども理解と個に応じた指導、自尊感情の育成
 授業のUD化など個に応じたきめ細かな学習や生活指導・特別支援教育を充実させるため、TT・少人数学習・個別支援・人権教育や、関係機関との連携を進めていく
 ◇授業力向上
 分かる・できる授業をめざして、「3観点」を子どもの立場でとらえ直し1単元・1時間の授業をデザインする。
 ◇地域連携
 保護者・地域の方々と目的を共有し、共同の活動を充実させ、共に地域の子どもを育てる意識を醸成していく。